

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 6 年 5 月 31 日
-------	-----------------

市所管部署	石巻市 河北総合支所地域振興課
-------	-----------------

2 法人名称等

法人名称	株式会社 かほく・上品の郷
法人所在地	石巻市 小船越字二子北下1番地1
設立年月日	平成 16 年 10 月 22 日
代表者職・氏名	代表取締役 佐々木 正文

設立目的・経過
道の駅「上品の郷」の維持管理及び運営の受諾を行うことを目的とする。平成17年3月指定管理者に指定「管理に関する協定書」締結。平成18年4月石巻市の指定管理者に指定。石巻市との管理に関する協定締結。

3 定款上の事業内容

- (1) 石巻市及び地方公共団体が設置する（道の駅）の維持管理及び運営の受諾業務
- (2) 書籍・日用品・食料品・たばこ・酒類・農林水産物の販売事業
- (3) 食堂施設の経営事業
- (4) その他前各号に付帯する一切の業務
- (5)

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産 総額	石巻市 出資・出捐額	石巻市 出資・出捐割合	市以外の 出資・出捐者	市以外の者の 出資・出捐額	市以外の者の 出資・出捐割合
50,450 千円	45,000 千円	89.2 %	個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員

	R3期末	R4期末	R5期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	1	1
非常勤	7	7	6
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	2	2	2
計	8	8	7
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	2	3	3

(2) 職員

	R3期末	R4期末	R5期末
常勤	15	12	14
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	29	30	30
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	44	42	44
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

・お客様に対するサービスを最大限に心がけ、経営の合理化を図り、地域に貢献できる企業として成長する。
 ・全国の皆様から愛され、親しまれ、また行ってみたいと思われる施設として、地域活性化に貢献する。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		令和4年度期	令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期
純売上高	千円	目標計画	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
		実績	891,158	959,527	/	/	/
目標・指標の説明			法人売上高に法人以外の売上高（農産物直売所出品者の売上等）を加えた、道の駅全体の売上高である純売上高を指標とし、目標として年間10億円を設定。				
目標未達の場合の要因分析			毎月行っている経営会議で分析し、問題点の改善に努めている。				

目標項目・指標	単位		令和4年度期	令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期
		目標計画					
		実績					
目標・指標の説明							
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
「道の駅」管理運営	石巻市内を中心に取り扱い商品を増やし、新たに特卖日を実施し、セリ鍋コンテストの実施等で来客者の増と地域のPRに努めました。	新型コロナウイルス感染症が落ち着いた事で経済活動も活発になり来客者も増え、売上も増加しました。令和5年6月からは東日本急行バスの立ち寄りにより仙台方面からのお客様も増えました。 引き続き石巻のPRに努め集客につなげ、観光客はもちろん、地元のお客様を取り込んでいく方法を検討します。	前期は老朽化した設備、備品の更新を行いました。大規模なものにつきましては更新計画を策定しました。
事業の公共性、公益性	地域住民の交流の場として、地元生産者が生産した農産物等の売場として地域経済の活性化に貢献しています。また、三陸自動車道の利用者の休憩場所、観光客の目的地、情報提供の場所として重要な場所になっています。		

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

団体名称	株式会社 かほく・上品の郷
------	---------------

1 財務諸表（金額単位：円）

貸借対照表（B/S）	借方（科目）	令和3年度期	令和4年度期	前期増減	令和5年度期	前期増減
	流動資産	145,803,517	173,879,949	28,076,432	174,308,213	428,264
うち 現金・預金	127,633,239	150,450,027	22,816,788	147,457,753	▲ 2,992,274	
固定資産	24,398,907	13,926,247	▲ 10,472,660	16,803,022	2,876,775	
有形固定資産	17,955,360	7,549,686	▲ 10,405,674	9,723,254	2,173,568	
無形固定資産	446,425	401,600	▲ 44,825	401,600	0	
投資その他の資産	5,997,122	5,974,961	▲ 22,161	6,678,168	703,207	
資産の合計	170,202,424	187,806,196	17,603,772	191,111,235	3,305,039	
貸方（科目）	令和3年度期	令和4年度期	前期増減	令和5年度期	前期増減	
流動負債	64,428,584	78,759,785	14,331,201	81,985,628	3,225,843	
うち 短期借入金	0	0	0	0	0	
固定負債	11,051,688	10,398,108	▲ 653,580	8,181,069	▲ 2,217,039	
うち 長期借入金	6,372,000	3,756,000	▲ 2,616,000	1,140,000	▲ 2,616,000	
負債合計	75,480,272	89,157,893	13,677,621	90,166,697	1,008,804	
純資産	94,722,152	98,648,303	3,926,151	100,944,538	2,296,235	
うち 資本金	50,450,000	50,450,000	0	50,450,000	0	
うち 資本剰余金	0	0	0	0	0	
うち 利益剰余金	44,772,152	48,698,303	3,926,151	50,994,538	2,296,235	
うち その他	▲ 500,000	▲ 500,000	0	▲ 500,000	0	
負債・純資産の部合計	170,202,424	187,806,196	17,603,772	191,111,235	3,305,039	

損益計算書（P/L）	科目	令和3年度期	令和4年度期	前期増減	令和5年度期	前期増減
	売上高	300,763,565	329,241,018	28,477,453	320,343,973	▲ 8,897,045
売上原価	65,887,358	62,979,394	▲ 2,907,964	64,852,949	1,873,555	
売上利益	234,876,207	266,261,624	31,385,417	255,491,024	▲ 10,770,600	
販売費・一般管理費	249,278,625	268,923,050	19,644,425	259,262,130	▲ 9,660,920	
営業利益	▲ 14,402,418	▲ 2,661,426	11,740,992	▲ 3,771,106	▲ 1,109,680	
営業外収益	6,428,598	10,651,312	4,222,714	7,062,874	▲ 3,588,438	
営業外費用	106,317	275,536	169,219	1,385,987	1,110,451	
経常利益	▲ 8,080,137	7,714,350	15,794,487	1,905,781	▲ 5,808,569	
特別利益	0	0	0	3,600,000	3,600,000	
特別損失	0	3,600,000	3,600,000	3,021,094	▲ 578,906	
税引前当期純利益	▲ 8,080,137	4,114,350	12,194,487	2,484,687	▲ 1,629,663	
法人税等	207,947	188,199	▲ 19,748	188,452	253	
当期純利益	▲ 8,288,084	3,926,151	12,214,235	2,296,235	▲ 1,629,916	

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

区分	令和3年度期	令和4年度期	前期増減	令和5年度期	前期増減
	営業活動によるキャッシュフロー	4,839,144	25,443,788	20,604,644	5,877,676
税引前当期純利益	▲ 8,080,137	4,114,350	12,194,487	2,484,687	▲ 1,629,663
引当金の増減額	24,599,976	14,050,499	▲ 10,549,477	▲ 2,189,423	▲ 16,239,922
受取利息及び受取配当金	▲ 14,708	▲ 16,016	▲ 1,308	▲ 17,299	▲ 1,283
営業活動に係る資産及び負債の増減	▲ 11,394,754	7,538,979	18,933,733	5,796,618	▲ 1,742,361
利息及び配当金の受取額	14,708	16,016	1,308	17,299	1,283
利息等の支払額	▲ 77,994	▲ 51,841	26,153	▲ 25,754	26,087
法人税等の支払額	▲ 207,947	▲ 208,199	▲ 252	▲ 188,452	19,747
投資活動によるキャッシュフロー	312,338	5,038,778	4,726,440	▲ 41,684,205	▲ 46,722,983
有価証券の増減額	▲ 10,000	▲ 11,000	▲ 1,000	▲ 12,000	▲ 1,000
有形固定資産等の増減額	▲ 852,000	0	852,000	▲ 5,527,950	▲ 5,527,950
投資有価証券の増減額	574,338	5,049,778	4,475,440	▲ 35,430,255	▲ 40,480,033
貸付金の増減額	0	0	0	0	0
その他の固定資産等の増減額	600,000	0	▲ 600,000	▲ 714,000	▲ 714,000
			0		0
			0		0
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 2,616,000	▲ 2,616,000	0	▲ 2,616,000	0
短期借入金の増減額	0	0	0	0	0
ファイナンス・リース債権等の増減額	0	0	0	0	0
長期借入金の増減額	▲ 2,616,000	▲ 2,616,000	0	▲ 2,616,000	0
資本金等の増減額	0	0	0	0	0
配当金の支払額	0	0	0	0	0
その他固定資産等の増減額	0	0	0	0	0
			0		0
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0	0	0
現金及び現金同等物の増減額	2,535,482	27,866,566	25,331,084	▲ 38,422,529	▲ 66,289,095
現金及び現金同等物期首残高	105,024,807	107,560,289	2,535,482	135,426,855	27,866,566
現金及び現金同等物期末残高	107,560,289	135,426,855	27,866,566	97,004,326	▲ 38,422,529

(※1) 負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

(※2) 支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：円）

区分	令和3年度期	令和4年度期	前期増減	令和5年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）	0	1,000,000	1,000,000	0	▲ 1,000,000
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）			0		0
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）		1,000,000	1,000,000		▲ 1,000,000
委託料及び指定管理料	48,900,000	16,000,000	▲ 32,900,000	16,000,000	0
借入金（期末残高）	0	0	0	0	0
短期借入金			0		0
長期借入金			0		0
出資・出捐（期末時）	45,000,000	45,000,000	0	45,000,000	0
債務保証額（期末残高）			0		0
損失補償額（期末残高）			0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）			0		0
			0		0
			0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ 補足資料

法人名：株式会社 かほく・上品の郷

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

固定資産の2,877千円の増加は、経年劣化による設備の入れ替えを行った為の資産の増資に伴う増額によるものです。
 流動負債の3,226千円の増額は、買掛金、未払費用、社員預かり金及び消費税の未払いの増加によるものです。
 「自己資本比率」は52.8%です。(当期52.8%、前期52.5%、前々期55.7%)

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目		変動内容 (単位：円)	変動要因
流動資産	現金・預金	2,992,274減	現金・預金の減
固定資産	有形固定資産	2,173,568増	防犯灯の更新、軽トラックのリース費用による増
流動負債		3,225,843増	3月施設修理費用の未払い額の増

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

令和4年度の直売所と温泉保養施設利用者数の合計570,985人に対し、令和5年度は626,953人となり55,968人増となりました。
 最終的な純利益は、2,296千円となりましたが、施設内の老朽化した設備の修理、店舗内の売上施設の修繕、郊外の案内看板の設置などで費用が増加しております。
 また、引き続き光熱水費の増加による影響も大きく、最低賃金引き上げによる給与手当の増加が発生しており、よりいっそう経費の削減などの努力が必要となります。
 令和6年度も売上高を伸ばしながら引き続き経費削減などに努めていきたいです。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目		変動内容 (単位：円)	変動要因
売上高		8,897,045減	直売所のテナント料の減
販売費・一般管理費		9,660,920減	直売所の施設使用料の減
営業外収益		3,588,438減	電気料支援金、事業復活支援金の減

情報公開シートⅡ補足資料

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ、分類も2類から5類へ移行し行動規制の緩和により人々の生活も束縛のある生活から開放され、経済活動も活発となり、道の駅の運営にも好影響を与えております。営業活動によるキャッシュフローは当期末で5,878千円となっており、前期と比較すると税引き前当期純利益は減少しているものの、設備などの経年劣化や光熱費削減の為の設備投資を行うことができました。今後も事業を行っていく上で資金繰りも含め、売上及び利益をいかに確保していくか、留意していく必要があります。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目		変動内容(単位:円)	変動要因
営業活動による キャッシュ フロー	引当金の増減額	16,239,922減	減価償却費の減少、大修理引当金の戻入による減
	営業活動に係る資産	1,742,361減	未収入金の増
投資活動による キャッシュ フロー	有形固定資産等の増減額	5,527,950減	有形固定資産の増
	投資有価証券の増減額	40,480,033減	定期預金の預かり入れによる減

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位:円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等(指定管理含む)の状況

委託業務の名称	委託料(単位:円)	委託業務の内容
道の駅「上品の郷」指定管理業務	16,000,000	指定管理業務

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位:円)	減免理由

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：株式会社 かほく・上品の郷

担当部署名：河北総合支所 地域振興課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

例年、道の駅では中期的な経営目標・事業計画の目標計画として、純売上高1,000,000千円としていますが、今年度は959,527千円であり目標額を達成することはできませんでしたが、令和4年度に比べ、プラス68,369千円と目標額へ近づいています。

温泉保養施設「ふたごの湯」の利用者も増え、令和5年8月には株式会社リクルートが発行する旅行情報誌「じゃらん」の全国道の駅グランプリ2023では上品の郷が「満足度の高い道の駅」として全国8位に選出され、3年連続で選出されるなど、今後も様々な形で利用客を呼び込めるような魅力的な対策を講じ、地域の活性化に貢献することを期待します。

（2）主要事業の成果、課題

直売所等のキャッシュレス化への取り組みが進み、利用者の利便性が向上し、集客や売上の増加に繋がっているものと考えます。

これまで以上の利益増を目標とし、引き続き経営のスリム化と経費の削減を図りながら運営することを期待します。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）に対する意見

（1）貸借対照表

会社の財務面の安全性を表す経営指標の一つである「自己資本比率」が52.8%であり、良好な状況です。

引き続き、健全な財政運営のため効果的・効率的な運営及び事業実施に努めていただきたい。

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

令和5年度の集客者数は令和4年度に対し55,968人増となり、最終的な営業利益は2,296千円となっています。
引き続き、健全な財政運営のため効果的・効率的な運営及び事業実施に努めていただきたい。

(3) キャッシュフロー計算書

営業活動によるキャッシュフローは当期末で5,878千円となっており、令和4年度比較を行うと大きく減額されていますが、引き続き、経営改善に向けた効率的な運営に努めていただきたい。

(4) 市による財政・金融支援等

指定管理料として16,000千円を支出しましたが、経営改善に向けた効率的な経営に努めていただきたい。

3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)

国際的な原材料価格や原油価格の高騰の影響等により、今後も厳しい状況が続くことが見込まれますが、道路利用者や地域住民等の交流の拠点として、利用しやすくより一層親しまれるよう、サービスの向上及び運営の効率化に努めていくことを期待します。